

くしろ 市議会だより



「四季彩」^{しきさい} 大川^{おおかわ} 結麻^{ゆま}さん (湖陵高校3年)

議会日程

7月臨時会

7/20 提案説明／委員会審査・採決／委員長報告／本会議採決

9/2 議会運営委員会

9/3 石炭対策特別委員会

9月定例会

(会期28日間)

9/8 市政報告／提案説明／質疑・一般質問

9/9、10 質疑・一般質問

9/10 常任委員会審査(先議分)

9/13 常任委員会採決(先議分) 常任委員会審査

9/14 委員長報告／本会議採決(先議分)

9/14～16 常任委員会審査

9/17 常任委員会採決

9/21 委員長報告／本会議採決

9/22、24、27～29 決算審査特別委員会審査

10/4 決算審査特別委員会採決

10/5 委員長報告／本会議採決

7月臨時会では、白糠町との定住自立圏形成協定締結について同意しました。
9月定例会では、本年度一般会計補正予算などを原案どおり可決・同意した後、21年度の一般・特別会計や企業会計の決算を認定しました。また、本会議及び委員会では、財政健全化の取り組みなどについて論議がありました。

「釧路市事業仕分け」実施

……課題の改善を検討し23年度も実施……

8月28日に実施された「釧路市事業仕分け」について、本会議及び委員会で論議がありました。

本会議では、今回の仕分けは市民参加の点で意義があったが改善点もあるのではないかと。また、結果どおり23年度予算に反映されるのかとの質問がありました。

市長及び理事者は、事業の課題等を整理した上で、市として最終判断し、23年度予算に反映させた。また、その判断に至った理由についても市民に公表し、理解を得られるよう取り組んでいきたいと答えました。

委員会審査では、今回の仕分け結果が直接行政に反映されるわけではなく、責任、役割の面で中途半端だったように思う。また市民の意見を聞く方法としては無理があるのではないかとの質問がありました。

市長は、事業仕分けは、行政に

市民意見を取り入れるための手法の一つと考えており、仕分け人の客観的な立場での意見を聞くことや、行政が行っている事業の内容、経費などを市民に明らかにするという点でも、大きな意義があったと考えている。実施上の課題については改善を図り、23年度も実施していきたいと答えました。



事業仕分け実施中の様子

本 会

議 議

質 疑 ・ 一 般 質 問

9月8〜10日

質 問 者 15人

〔自新ク 戸田 悟 議員〕

〔問〕 定住自立圏形成協定は、管内市町村一体で構築をしていくことが重要であり、弟子屈町・標茶町との連携と共生をどのように考えていくのか。

〔答〕 両町には、同協定締結の意思は伝えており、今後、それぞれ申し入れがあれば具体的に協議していきたい。

〔市民連 宮田 団 議員〕

〔問〕 幼稚園・保育園・小学校が互いの立場を理解し合い、よりよく新一年生を支えていくための連携を強化できないか。

〔答〕 相互の授業参観や訪問などの取り組みが具体的に進められており、今後ともさらなる連携強化に努めていきたい。

〔阿音ク 鶴間秀典 議員〕

〔問〕 第三セクター等改革推進債の償還年限を15年から5年に短縮し、思い切った財政改革に取り組みべきではないか。

〔答〕 市民サービスへの影響を極力抑え、市としての持続的なまちづくりを推進するため15年と計画した。

〔清風会 黒木 満 議員〕

〔問〕 リバーサイドの親水・交流ゾーンとしてMOO地区と対岸地区が一体となった整備

が必要ではないか。

〔答〕 MOOの対岸である幣舞橋下流左岸側の整備については、港湾計画の改訂作業の中で今後の方向性を整理したい。



MOOと対岸地区

〔共産党 梅津則行 議員〕

〔問〕 高齢者バス等利用助成事業に関し回数券と定期券のどちらでも選択できるように見直しできないか。

〔答〕 回数券を含めた選択も方法の一つであるが、利用上の問題を解決する必要もあり、今後十分に検討していきたい。

〔公 明 松橋尚文 議員〕

〔問〕 星が浦北通と星が浦西通が交わる丁字交差点に関し、交通量調査などを実施の上、整備を図るべきではないか。

〔答〕 当交差点の交通量調査を

実施し、現状把握に努めるとともに、釧路警察署へ信号機の設置を要望していきたい。

〔無所属 草島守之 議員〕

〔問〕 スポーツ合宿には、種目に適した屋内外の施設が求められるが、市内及び近隣町村が所有する施設の相互有効利用を検討すべきではないか。

〔答〕 関係町村と施設の有効利用を図るとともに、合宿情報共有と発信に努めたい。

〔市民連 千葉光雄 議員〕

〔問〕 地域住民から強く早期完成を要望されている緑ヶ岡公園の整備期間を短縮できないか。

〔答〕 同公園用地の一括取得が可能となれば、33年度から27年度に前倒しして、完成するよう整備を進めていきたい。

〔清風会 高橋一彦 議員〕

〔問〕 生活保護受給母子世帯の多くはパート就労であり、改善に向け、雇用や職業教育面での支援が不可欠ではないか。

〔答〕 福祉と産業政策との連携を構築しながら、受給者の自立支援に向け、雇用の確保に努めていきたい。

〔公 明 逢坂和子 議員〕

〔問〕 全道的に子宮頸がん予防

ワクチン公費助成が進んでおり、釧路市でも実施に向けた検討を開始してはどうか。

〔答〕 国・道における助成制度の動きや、他都市の状況を見きわめながら検討していきたい。

〔共産党 石川明美 議員〕

〔問〕 MOOのプールは事業仕分けで廃止とされたが、利用者とりわけ高齢者の意見を聞くべきではないか。

〔答〕 今後、仕分け結果に基づいた事業の課題等を整理した上で、市としての判断をしていきたい。

〔清風会 笠井龍司 議員〕

〔問〕 「地域主権」* についてどのように評価しているか財政的な見地も含め基本的認識、



MOOのプール(フィットネスセンター)

所見を聞きたい。

〔答〕 地方の自主自立の確立のためにも財政基盤の強化が不可欠であると考えており、今後の動向を注視していきたい。

〔共産党 村上和繁 議員〕

〔問〕 ひとり親家庭の実態を市はどう考えているのか。また、今回のアンケート結果を今後どのように生かしていくのか。

〔答〕 現在、アンケートは集計中であるが、結果も含め、幅広く意見を聞き、ひとり親家庭自立促進計画を策定したい。

〔清風会 菅野 猛 議員〕

〔問〕 合併後のまちづくりに関するアンケート調査の結果とそれを市政にどう生かしていくか聞きたい。

〔答〕 合併後のサービスに対する評価や行政に期待することなどの意見があり、今後の行政運営に生かしていきたい。

〔清風会 続木敏博 議員〕

〔問〕 財政健全化計画達成のため、まず5年間のより詳細な計画をつくるべきではないか。

〔答〕 23年度からの5年間で集中取組期間とし、毎年度の予算編成の中で健全化対策を確実に実行するよう不転の決意で取り組むたい。

* 地域主権とは、国において「住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにする」となされている。

委員公会審査

4 常任委・3 特別委

9月3・10・17・22・29・10月4日

財政経済常任委員会

市民と財政状況の共通認識を
広報・市政懇談会で現況説明
事務事業の見直しに当たり、

財政再生団体に陥るとどのよ
うな事態になるかという説明
が不足している。市民と行政
が共通認識に立つべきではな
いかとの質問がありました。

理事者は、広報くしるで、
今後対策を講じなければ29年
度には財政再生団体になると
報告した。また市政懇談会で
も、市の自主性を確保した上で
まちづくりを進めるための取
り組みの必要性などを市長か
ら説明していると答えました。

民生福祉常任委員会

ジェネリック医薬品
購入金額の拡大へ努力
市立病院におけるジェネリック
医薬品の購入割合と購入金額
について質問がありました。

理事者は、院内で取り扱う
千500品目の薬品のうち、同医
薬品の購入は年々増加してお
り、21年度では購入割合が8・
79%であり、購入金額は2億
4千万円であった。同医薬品の
購入が増えることは経営に

もプラスとなることから、医
局、薬局と協議し、今後は購
入金額ベースで目標を定めて、
拡大に向け努力していきたい
と答えました。

建設常任委員会

釧路川物揚場の救命対策
安全手すりを20基設置

5月に釧路川末広物揚場付
近で市民の転落事故が相次い
で発生し、先の6月議会で対
策が求められていた件で、今
議会において安全手すり（救
命用はしご）が設置された報
告があり、内容について質問
がありました。

理事者は、潮位の変化への
対応等も踏まえて独自に考案
し、幣舞橋と久寿里橋の間に



安全手すりが設置された釧路川物揚場

約20メートル間隔で20基を設
置した。今後も引き続き、転落
防止を注意喚起できるように
方策等の安全対策について検
討していきたいと答えました。

総務文教常任委員会

図書館への指定管理者導入
利便性向上などに成果

図書館の指定管理者指定の
件に関して、20年度から3年
間指定管理者による運営を行っ
てきたが、これまでの総括と
今後の取り組みについて質疑
がありました。

理事者は、開館時間の延長
による利便性の向上、市民協
働による古本市の開催や接遇
面の改善に加え、経費節減も
図られるなど、一定の成果が
あった。今回の募集に当たっ
ては、新たな提案も受けてお
り、今後も民間の新しい発想
による取り組みを期待してい
ると答えました。

市内中学校における個人情報
報不適正処理の件を審議する
ため、10月4日に総務文教常
任委員会を開催しました。
委員会では、理事者から報
告と説明を受け、委員から今

後の対応等について質問があ
りました。
なお本件については、10月
5日の本会議において委員長
報告を行いました。



図書館訪問受入事業（幼稚園児）

石炭対策特別委員会

産炭国石炭産業高度化事業
中長期的な視点で継続へ

産炭国石炭産業高度化事業
が継続されるためには、単年
度ごとに要請行動をするとい
うことだけでなく、具体的な
成果を示し、中長期的な視点
を持ち、事業のあり方を考え
ていくことが必要ではないか
との質問がありました。

理事者は、同事業が石炭生
産性の向上を通じ各国の経済
発展に大きく貢献していると

各会計決算審査特別委員会

財政健全化判断比率の改善
健全化対策や交付税増が要因
21年度の各会計決算は、特
別委員会を設置し、審査を行
いました。

審査の中で、財政健全化判
断比率について、それぞれで
改善されているにも関わらず、
それに対する説明がない。こ
の点もすっかり踏まえていく
べきと考えるがどうかとの質
疑がありました。

理事者は、比率改善の要因
については、健全化に向けた
対策の効果もあるが、交付税
の増加等に伴い標準財政規模
が増えたことも要因である。
厳しい財政状況は変わらない
中で比率が改善したことにつ
いては、広報等を通じてわか
りやすく説明していきたいと
答えました。

【各会計決算審査特別委員】

◎土岐政人◎鶴間秀典◎笠井龍司
松橋尚文◎戸田 悟◎梅津則行
宮田 団◎渡辺慶藏

(◎委員長◎副委員長)

※ 財政健全化判断比率とは、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの財政指標の総称。地方公共団体などの財政状況を客観的に表す意義を持つ。
※ 標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な状態で通常収入される見込みの地方交付税を含む経常的な一般財源の額をいう。

| 平成22年第4回7月臨時会審議結果 | | ○賛成 ×反対 | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------------------|---------|--------|-----|---------|---------|----------|-------|-------|--------|------|
| 件名 | 会派名〔()内は議員数は た所属議員名 ま無 | 市民連合議員団 | 公明党議員団 | 清風会 | 自由新政クラブ | 阿寒音別クラブ | 日本共産党議員団 | 市政クラブ | 藤原厚議員 | 草島守之議員 | 審議結果 |
| | | 市長提出議案 | | (6) | (5) | (5) | (4) | (4) | (3) | (2) | |
| その他 | 白糠町との定住自立圏形成協定締結について同意を求める件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 同意 |

| 平成22年第5回9月定例会審議結果 | | ○賛成 ×反対 △継続審査 | | | | | | | | | |
|-------------------|---|---------------|--------|-----|---------|---------|----------|-------|-------|--------|------|
| 件名 | 会派名〔()内は議員数は た所属議員名 ま無 | 市民連合議員団 | 公明党議員団 | 清風会 | 自由新政クラブ | 阿寒音別クラブ | 日本共産党議員団 | 市政クラブ | 藤原厚議員 | 草島守之議員 | 審議結果 |
| | | 市長提出議案 | | (6) | (5) | (5) | (4) | (4) | (3) | (2) | |
| 予算 | 22年度補正予算 一般会計(2,572,575千円、総額102,420,022千円)／国民健康保険特別会計(2,614千円、総額19,433,001千円)／国民健康保険音別診療所事業特別会計(歳入予算の区分変更)／動物園事業特別会計(325千円、総額384,741千円)／下水道事業会計／港湾整備事業会計 一般会計(319,247千円、総額102,739,269千円) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 決算 | 21年度決算 水道事業会計／工業用水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計 各会計／病院事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| 条例 | 制定条例 町区域の設定等に伴う関係条例の整理に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 一部改正条例 外国の地方公共団体の機関等に派遣される釧路市職員の処遇等に関する条例／交流プラザさいわい条例／消防団員等公務災害補償条例／火災予防条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 廃止条例 音別町生活改善センター条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 財産 | 土地取得 鶴丘18番101ほか4筆 150,382.10平方メートル(土地開発公社の経営健全化計画に基づく同公社所有地の再取得、467,049,162円)／緑ヶ岡3丁目22番67 61,519.88平方メートル(緑ヶ岡公園用地、2,572,574,300円) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 契約 | 工事請負 新川改良住宅(S-3)耐震改修工事(建築主体)(416,850千円) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 人事 | 株式会社釧路振興公社の議決権行使について同意を求める件(中島太郎氏)／教育委員会委員の任命について同意を求める件(松尾千穂氏)／人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(前田信雄氏、遠藤絹子氏、水野昭人氏) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| その他 | 過疎地域自立促進市町村計画の策定に関する件／訴えの提起の件(市営住宅)／土地処分の件(港町11番1)／市道路線の認定及び廃止の件／議決変更の件(指定管理者の指定期間変更)／市民環境部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件／福祉部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件／産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件／水産港湾空港部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件／生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 土地処分の件(旧旭小学校跡地) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 厚岸町との定住自立圏形成協定締結について同意を求める件 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議員提出議案 | | | | | | | | | | | |
| 意見書 | 森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書／口蹄疫などの家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書／外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書／子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書／21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書／B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 陳情 | 高齢者バス等利用助成事業の改善を求める件 | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | △ | - | - | 継続審査 |

※現在、無所属議員は3名ですが、二瓶議長は採決に加わっていないため、2名の氏名のみ記載しています。
陳情については、所管の委員会で継続審査となったため、無所属議員の審議結果欄は「-」としています。

企業会計決算審査特別委員会

道立病院機能移管補助金終了後は施策充実を国へ要望
21年度の企業会計決算は、特別委員会を設置し、審査を行いました。

審査の中で、道立病院の廃止に伴う市立病院への機能移管に係る道からの補助金が23年度で終了するが、道に対し引き続き補助を求めていくべきではないかとの質疑がありました。

市長は、継続して補助を要請することにはならないが、診療報酬などの施策の充実を図るよう全国自治体病院協議会を通じて国へ要望し、道とも必要な連携をとっていきたいと答えました。

【企業会計決算審査特別委員】
◎藤原勝子◎秋田慎一 高橋一彦
本城洋 西直行 宮下健吉
石川明美 酒巻勝美
(◎委員長◎副委員長)

姉妹都市を親善訪問
(湯沢市・鳥取市)

姉妹都市等交流促進議員連盟では、7月22日から24日の日程で、上口智也議員ほか4名の議員が湯沢市を、同連盟会長宮下健吉議員ほか5名の議員が鳥取市をそれぞれ訪問し、友好の絆を深めました。